

まちの話題+

思い描く人生を
実現するためには？

くにさき婚学講演会



8月26日(水)、アストくにさきで、九州大学の佐藤剛史先生を講師に招き、くにさき婚学講演会を開催しました。(主催：くにさき婚活応援団) 佐藤先生は、現代の多様化するライフスタイルの中で「思い描く人生を実現するためには？」をテーマに結婚、家庭、出産、そして食育のあり方などについて、講演されました。当日は約400名の参加者があり、「命を繋ぐことがいかに大切な事なのか、あらためて認識した」、「婚活は地域全体で取り組む課題。(自分の)周囲の独身者の婚活をサポートしなければと感じた」など、感想が寄せられました。また、本講演会では、市内独身者の婚活支援をする『くにさき婚活応援団』の募集も行われ、講演会終了後、新たに138名の応援団員としての申し込みがあり、大変有意義な講演会となりました。

くにさき婚活応援団員募集中!!

くにさき婚活応援団とは、国東市内の定住促進及び、地域の担い手の育成を目的に独身者のお見合い機会の設定や支援をする団体で、市内の有志の皆さんで構成されています。団が設立されて、3年余りが経過しましたが、近年のライフスタイルの変化や晩婚化傾向から、団員のお世話での成婚カップルは未だ誕生していない状況です。しかしながら、予想される人口減少の中、市内独身者の婚活を推進することは、地域社会を維持継続していくために非常に重要な事と捉えています。そのようなことから、今年4月から、くにさき婚活応援団員に対する支援策として、次の2つの制度を創設しました。

- ①国東市婚活・定住支援奨励交付金制度
制度内容▶独身男女のお付き合いのキッカケ作りやお見合いの場を作り、その男女が結婚し国東市に定住した場合に、そのお世話をした人に対し、国東市から10万円の奨励金を交付します。
 - ②くにさき婚活応援団お見合い活動支援制度
制度内容▶くにさき婚活応援団員が設定し、経費を支払った、当該独身者の初回のお見合いに掛かる費用(会食費や施設借上げ料)について、5千円を上限に支援金を交付します。
- ※①、②とも、くにさき婚活応援団員のみが対象となる支援制度です。

くにさき婚活応援団の活動に興味がある方は、下記担当課まで連絡ください!!

(団員資格：市内在住または市内の事業所に勤務する20歳以上の方)
くにさき婚活応援団事務局 (活力創生課地域支援係) ☎0978-72-5175

新庁舎建設インフォメーション

国東市新庁舎建設工事の 状況についてお知らせします

躯体工事は、8月29日の議場屋根コンクリート打設で終了し、相次ぐ台風の接近で雨の多い9月でしたが、何とか防水工事も終了しました。屋上は防水保護コンクリート打設後、太陽光・空調機器等の設置調整に入ります。



▲新庁舎1階内装工事の状況(左)と国道側からの全景写真(右)

内部仕上工事は1階から順に進めており、エレベーターもシルバーウィーク明けに検査を終え、仮使用できる状態となっています。議場のカーテンウォールの取り付けも終わり、鉄骨の耐火処理後、機械・電気設備配管を経て、壁・天井下地の組立に入りました。

また、新庁舎では、環境負荷の低減及び耐久性向上を目指し、構造体コンクリートすべてに、大分大学研究室で開発された改質フライアッシュを混和したコンクリートが使用されています。9月16日は大分大学と(株)ゼロテクノ主催で、先進技術を導入した現場見学会が開催され、県内外から多くの研究者や工事関係者が参加されました。

今後、10月中旬から足場を解体し、仮囲いの撤去後、くにさき回廊および外構工事に入り、いよいよ新庁舎の外観がご覧になれます。これから、内装工事が急ピッチですすめられるに従い、搬出入の車両が多くなり、より一層の安全確保が必要となります。誘導員を配置して一般車両優先に誘導しますが、少しお待ちいただくこともあります。ご協力よろしくお願いいたします。

【問合せ】 庁舎建設室 ☎0978-72-1111 (内線241)



9月3日

認知症高齢者の徘徊早期発見のための 反射シール贈呈式

市役所応接室で、建設業協会国東支部と株式会社大鐵が国東市へ防水性の高い反射シールを寄贈しました。この反射シールは、本人がよく履く靴の前後に貼ることによって、シールを目

印に徘徊者の早期発見につなげるというものです。希望する方は、地域包括支援センター及び高齢者支援課にて随時受付、配布されます。



8月27日

くにみ苑に 赤ちゃんが訪問



子どもの姿を見ること、触れ合うことの少ない入苑者の方に、少しでも赤ちゃんとお話ししてもらおうと、2組の母子がくにみ苑を訪れました。かわいい赤ちゃんの姿は終始、優しいまなざしと笑顔で見つめていました。

9月4日

第2回黄色い旗 サミット開催



武蔵保健福祉センターで、第2回黄色い旗サミットが開催されました。第1回目の開催から3年が経過した中で、黄色い旗運動に取り組む15地区の役員の方々が集まり、自分の地区のこれまでの取り組みの状況について報告し、これからの在り方について話し合いました。

9月13日

結成20周年記念 行入見来会 交流会



国東町の落合集会所で、行入見来会の結成20周年を記念して交流会が行われました。行入見来会は、行入ダムの定礎式に合せて行入区の若手有志で結成しました。この交流会には、行入見来会のメンバーの他にも行入ダム建設に関わった多くの方が集まり、行入ダム建設当時の思い出を語り合いました。

宝くじ助成金で備品を整備

地域社会の健全な発展を目的とした宝くじ社会貢献広報事業のコミュニティ助成事業(財自治総合センター)で今年8月に国見町岡区が防災備品を整備しました。岡区長は「今回取得した防災用品を活用して『共に助け、共に助かろう』の岡区自主防災組織スローガンの下、今後の自主防災活動に役立てていきたい」と話してくれました。



整備した主な備品(地域防災組織育成助成事業)・・・
AED、発電機、担架、ヘルメット等 防災資機材